



### <来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位: 億円)

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
6/21 (月)	▲ 300	+ 47,900	+ 47,600	国庫短期証券発行償還(3M・1Y) 国債償還(5年・10年・20年)	補完供給 CP等買入	+ 100 ▲ 500	1-0圏: ラガルドECB総裁、欧州議会に出席
6/22 (火)	トシ	+ 1,000	+ 1,000				1-0圏: 消費者信頼感指数 (6月)
6/23 (水)	▲ 1,000	▲ 27,000	▲ 28,000	国債発行(5年)			日: 日銀金融政策決定会合議事要旨 (4月26・27日分) 景気一致指数・景気先行CI指数 (4月) 1-0圏: サービス業・総合PMI (6月)
6/24 (木)	▲ 2,000	+ 5,000	+ 3,000				米: GDP (1Q確定値) 英: BOE政策金利発表
6/25 (金)	▲ 1,000	▲ 8,000	▲ 9,000	国債発行(20年)	新型コロナ企業支援	▲ 99,700	

### <インターバンク>

日銀当座預金残高は、週初519兆9,100億円から始まり、15日に年金定時払いや国庫短期証券買入等の要因により528兆7,700億円に拡大し、その後は週を通して概ね横ばい圏で推移し、530兆8,100億円を越えた。無担保コールON物加重平均金利は、週初△0.015%から始まり、積み最終日となる15日には地銀・都銀業態の調達意欲は堅調さから、同金利は△0.013%まで上昇した。新積み期の16日は様子見姿勢が強く△0.034%から始まったものの、その後上昇基調となり、△0.027%で越えた。ターム物は1W~2Wの6月末までの期間を中心に、主に△0.025%~△0.015%の水準で出が見られた。

日本銀行は、18日の金融政策決定会合にて、新型コロナウイルス感染症対応金融支援特別オペの期限を半年間延長するとともに、気候変動関連に対応する新たな資金供給の仕組みを導入することを発表した。

来週の主な予定は、23日に4月の日銀金融政策決定会合議事要旨の公表および、景気一致指数・景気先行CI指数(4月)の公表などがある。海外では24日に米国で1QのGDP(確定値)の公表、同日に英中銀の政策金利発表がある。

### [無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	△0.080 ~ 0.001
1M	△0.050 ~ 0.050
2M	△0.010 ~ 0.050
3M	0.000 ~ 0.100
6M	0.000 ~ 0.130

### [オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	△0.050 ~ 0.00
CP 3M	△0.080 ~ 0.00

### <レポ>

足許GC取引は週初△0.09%~△0.08%で始まり、週を通して同水準で推移した。新積み期入りや短国の入札が重なったがレート水準に変化は見られなかった。SC取引は2年409~425回債、5年138~147回債、10年331~362回債、20年164~176回債、30年69~70回債、40年9~13回債などに引合いが多く見られた。

### <CP>

今週の入札発行総額は約5,500億円で、週間償還額(約4,500億円)を上回った。入札発行市場は、鉄鋼や機械等一部の業態で相応の発行が見られたものの、週を通して案件数は限定的であった。発行残高は先週末の24兆6,457億円から、17日時点で24兆6,035億円に減少した。発行レートは、△0.08%~0%近辺での出会いであった。14日に、CP等買入オペが予定通り5,000億円でオファーされた。結果は、按分レート△0.006%・平均落札レート△0.004%と前回(按分レート△0.01%・平均落札レート△0.006%)比で上昇した。期日の短い玉の入れ替え需要等が一定量あったものと推定され、オペレートの上昇に繋がったものと考えられる。

来週の週間償還額は、約1兆2,500億円程度となっている。発行市場は、5・10日発行により一定の発行が見込まれるものの、大型の償還案件が続くことや、一般事業法人による四半期末決算の負債調整が見込まれることから償還超を見込む。発行レートは、先週同様に投資家のコロナオペ担保目的等のCP引受需要は高く、オペ対象となる希少銘柄や期越えの玉等に対しては深いマイナス金利での出会いが予想される。25日に、CP等買入れオペが5,000億円程度オファーされる予定。

### <TDB>

6月15日の6M1001回債(2021年12月16日償還)の入札は、最高落札利回り△0.0996%(前回債△0.0996%)、平均落札利回り△0.1036%(同△0.1016%)、6月16日入札の1Y1002回債(6月20日償還)の入札は、最高落札利回り△0.1091%(前回債△0.1198%)、平均落札利回り△0.1161%(同△0.1218%)となり、6月17日入札の3M1003回債(9月21日償還)の入札は、最高落札利回り△0.0991%(前回債△0.0982%)、平均落札利回り△0.1011%(同△0.1022%)となった。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。